

(様式例 3)

講 師 一 覧

担当科目 (項目)	講師氏名	要件 番号	専任 兼任 の別
9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (5) 快適な住環境整備と介護 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (13) 介護課程の基礎的理解 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (14) 総合生活支援技術演習 10. 振り返り (1) 振り返り 10. 振り返り (2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	岩崎 徳則	① ① ① ① ① ① ① ① ① ③ ③	兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任
3. 介護の基本 (1) 介護職の役割、専門性と他職種との連携 3. 介護の基本 (2) 介護職の職業倫理 3. 介護の基本 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント 3. 介護の基本 (4) 介護職の安全 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (1) 介護の基本的な考え方 9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	太田代 成子	② ② ② ② ① ①	兼任 兼任 兼任 兼任 兼任 兼任
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (2) 自立に向けた介護 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3) 障害者自立支援制度およびその他の制度	小松 節子	③ ② ②	兼任 兼任 兼任

4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (2) 医療との連携とリハビリテーション	南雲 琢	③	兼任
6. 老化の理解 (2) 高齢者と健康		②	兼任
7. 認知症の理解 (1) 認知症を取り巻く状況		⑤	兼任
7. 認知症の理解 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		②	兼任
7. 認知症の理解 (3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		⑤	兼任
7. 認知症の理解 (4) 家族への支援		⑤	兼任
8. 障害の理解 (1) 障害の基礎的理解		②	兼任
8. 障害の理解 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識		②	兼任
8. 障害の理解 (3) 家族の心理、かかわり支援の理解		⑤	兼任
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護		⑤	兼任
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (12) 死にゆく人に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護		⑤	兼任
1. 職務の理解 (1) 多様なサービスの理解		三好 美香	③
1. 職務の理解 (2) 介護職の仕事の内容や働く現場の理解	③		兼任
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介護	④		兼任
5. 介護におけるコミュニケーション技術 (1) 介護におけるコミュニケーション	②		兼任
5. 介護におけるコミュニケーション技術 (2) 介護におけるチームのコミュニケーション	②		兼任
6. 老化の理解 (1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	②		兼任
9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (4) 生活と家事	①		兼任

- 注) 1 「担当科目(項目)」は、別紙1に定めるカリキュラムの内容毎に記載すること。
- 2 「要件番号」欄は、その科目(項目)を教授する者として、別紙4のいずれの要件に該当する者であるか、別紙4の各要件に付した番号(①～⑩)を記載すること。なお、当該要件については、「講師履歴」(様式例4)に明記してあること。
- 3 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。
- 4 実習を行う場合は、実習指導者について記載すること。

<p>この研修で 担当する科目 (項目)</p>	<p>1. 職務の理解 (1) 多様なサービスの理解 (2) 介護職の仕事の内容や働く現場の理解</p> <p>2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介護 (2) 自立に向けた介護</p> <p>3. 介護の基本 (1) 介護職の役割、専門性とは職種との連携 (2) 介護職の職業倫理 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント (4) 介護職の安全</p> <p>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度 (2) 医療との連携とリハビリテーション (3) 障害者自立支援制度およびその他の制度</p> <p>5. 介護におけるコミュニケーション技術 (1) 介護におけるコミュニケーション (2) 介護におけるチームのコミュニケーション</p> <p>6. 老化の理解 (1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常 (2) 高齢者と健康</p> <p>7. 認知症の理解 (1) 認知症を取り巻く状況 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (4) 家族への支援</p> <p>8. 障害の理解 (1) 障害の基礎的理解 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 (3) 家族の心理、かかわり支援の理解</p> <p>9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (1) 介護の基本的な考え方 (2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解</p>
----------------------------------	---

- (4)生活と家事
- (5)快適な住環境整備と介護
- (6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
- (7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
- (8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
- (9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
- (10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
- (11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護
- (12)死にゆく人に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護
- (13)介護過程の基礎的理解
- (14)総合生活支援技術演習

10. 振り返り

- (1)振り返り
- (2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修